

AIBOワイヤレスLANカード

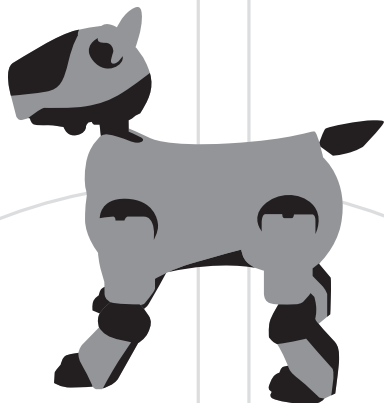
取扱説明書

ERA-201D1

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。





警告

安全のために

ソニー製品は、安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～8ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにお買い求めの販売店もしくはAIBOクリニック（裏表紙）にご連絡ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、外装のキャビネットを破損したとき



- ➊ AIBO本体の電源を切る
- ➋ AIBOワイヤレスLANカードをAIBOから取り外す
- ➌ お買い求めの販売店もしくはAIBOクリニック（裏表紙）に連絡する

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる場合があります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号




指示



AIBOについての最新情報は、下記のホームページで見ることができます。

<http://www.aibo.com/>

“ AIBO ”とAIBOロゴ、“ OPEN-R ”とOPEN-Rロゴはソニー株式会社の登録商標です。

“ メモリースティック ”(“ MEMORY STICK ”)と“  “ MEMORY STICK ”はソニー株式会社の商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では“ TM ”は明記していません。

目次

安全のために	2
電波に関する注意	9
AIBOワイヤレスLANカードとは	11
必要な環境	12
LANカードを取りつける	13
ネットワーク設定を行う	17
ネットワーク設定の手順	17
無線LANのネットワーク構成	18
AIBO側のネットワーク設定	23
AIBO側の設定を変更する	24
使用上のご注意	26
落下について	26
置き場所について	26
お手入れ	27
故障かな？と思ったら	28
保証とアフターサービス	30
保証について	30
アフターサービス	31
主な仕様	32
用語集	33



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより
死亡や大けがの原因となります。

雷が鳴りだしたら、本カードや付属品に触れない

感電の原因となります。



接触禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記載されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにAIBOから取りはずして、お買い求めの販売店、もしくはAIBOクリニックに点検・修理をご依頼ください。



禁止

内部を開けない

火災や感電、けがの原因となります。

また、本カードは、(財)テレコムエンジニアリングセンターの技術基準適合証明を受けた製品であり、容易に開けられない構造になっています。

内部の点検や修理は、お買い求めの販売店、もしくはAIBOクリニックにご依頼ください。



分解禁止

お子さまの手の届かない場所に設置してください

はずれた部分を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になります。



指示

本カードを病院内で使用しない

医療機器の誤動作の原因になることがあります。



禁止

本カードを飛行機の中で使用しない

飛行機の計器などの誤動作の原因となります。飛行機の中ではAIBO本体から本カードを取りはずしてください。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の
物品に損害を与えたりすることがあります。

直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設
置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となること
があります。



注意

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。
ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障
の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してくだ
さい。斜めに差し込むと、ピンとピンがショート
して、火災や故障の原因となることがあります。



注意

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明に関する規則第26条の規定により認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります。）
- 本製品は、技術基準適合証明に関する認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本製品を分解 / 改造すること
 - ・ 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

この機器は2.4GHz帯の無線チャンネル1～11まで使用することができますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器の使用上の注意

この機器の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯ではレンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店もしくはAIBOクリニックまでお問い合わせください。

2.4 D S 4



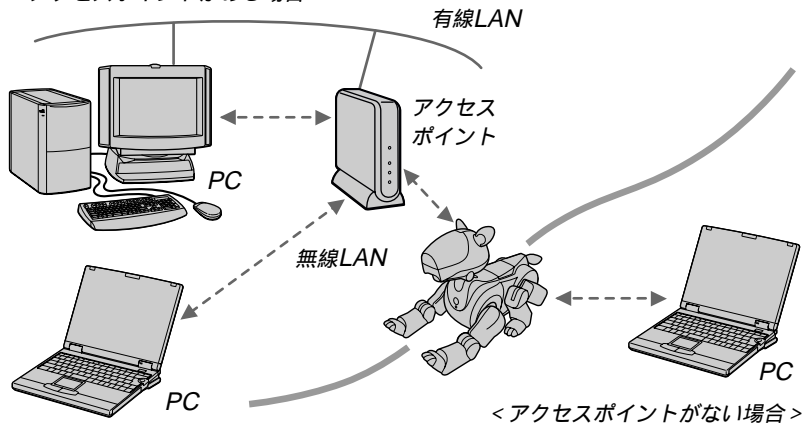
この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、干渉距離は40mです。

AIBOワイヤレスLANカードとは

AIBOワイヤレスLANカード ERA-201D1(以降、LANカード)を、AIBO ERS-210に装着することによって、無線LANカードを装着したPCとAIBOとの間で通信できるようになります。

アクセスポイントを使用するとLANを介して多くのPCと通信できます。

<アクセスポイントがある場合>



PC側に、無線LAN対応AIBO専用PCアプリケーションを、AIBO側には、“メモリスティック”で供給される AIBO-ware を動作させることにより、無線通信機能を生かしたソフトウェアを楽しむことができます。

必要な環境

本カード以外に、下記が必要です。

- AIBO本体(ERS-210)
- 無線LAN対応AIBO-ware“メモリースティック”
- 無線LAN対応AIBO専用PCアプリケーション
- 無線LANカード対応AIBO専用PCアプリケーションが動作するPC
- IEEE802.11b規格準拠の無線LANカード(AIBOと無線通信を行うPCに装着します。)

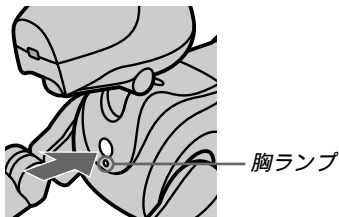
または

IEEE802.11b規格準拠のアクセスポイント(有線LANに接続されたPCと無線通信を行う場合に必要です。)

- PCで動作するWebブラウザ (AIBOのネットワーク設定を行う際に使用します。)

LANカードを取りつける

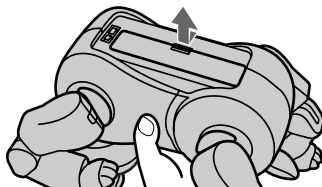
1 ポーズボタンを押し、AIBOを一時停止状態にする



ご注意

データなどを“メモリースティック”に保存している間、バッテリーバックロック表示が赤くなります。その際は、故障の原因となりますので、絶対に“メモリースティック”を取り出さないでください。また、データ書き込み中、バッテリーはロックされます。無理に強い力で取り出そうとすると、故障の原因になります。

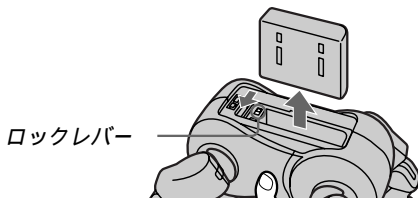
2 AIBOをしっかり上から持ち、裏返して、ふたを開ける



ご注意

- AIBOを持ち上げるときは、胴体以外をつかまないでください。
- 腹部の充電端子には、直接手で触れないでください。接触が悪くなります。

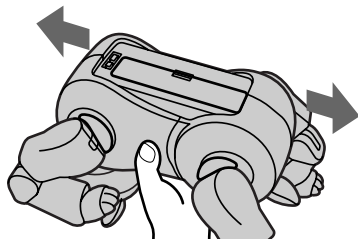
-
- 3** ロックレバーをスライドさせ、バッテリーを外す
バッテリーパックロック表示が白く表示されていることを確認してください。



ご注意

ロック表示が赤いときは、バッテリーは取り外せません。無理に強い力で取り外そうとすると、故障の原因となります。

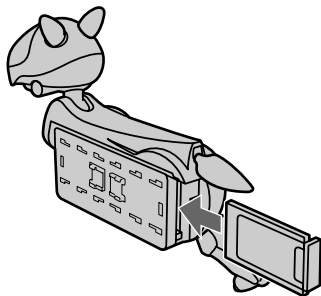
-
- 4** 左側の脚ユニットのリリース用穴を専用リリースピン（AIBOに付属）で押しながら、左側の脚ユニットを取りはずす
PCカードスロットが現れます。



5 アンテナを右向きにして、LANカードを、しっかり奥にあたるまで挿入する

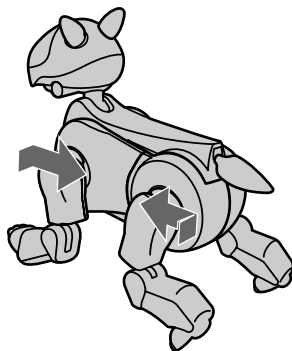
ご注意

LANカードを挿入するときは、アンテナの根元またはカードの両端を押してください。アンテナの突起部を押すと、アンテナを破損する場合があります。

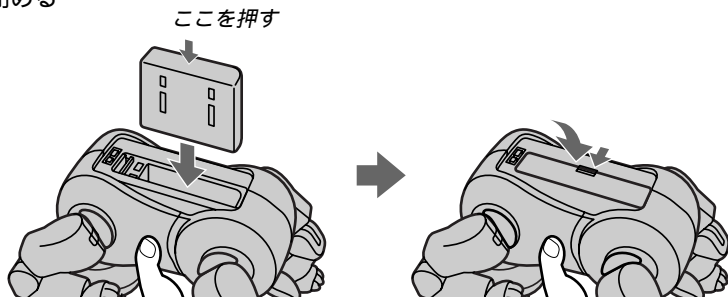


6 PCカード取り出しボタンを折りたたむ

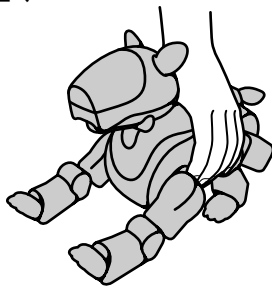
7 左側の脚ユニットを取りつける



-
- 8** バッテリーをカチッと音がするまで、矢印の方向に差し込み、ふたを閉める



-
- 9** 下図の姿勢で床に置く

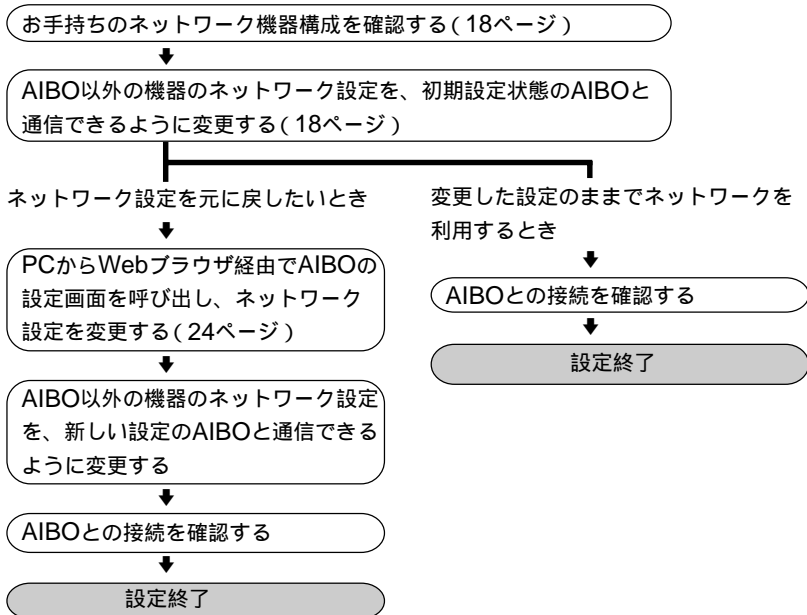


ネットワーク設定を行う

ネットワーク用語の説明は、用語集(23ページ)をご覧ください。

ネットワーク設定の手順

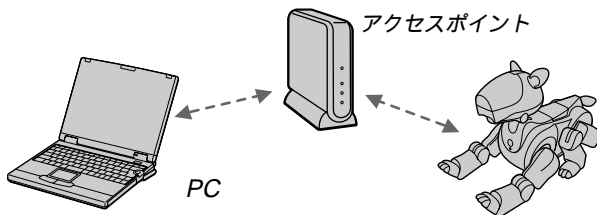
AIBOのネットワーク設定の流れは、次のようになります。



無線LANのネットワーク構成

お客様がお持ちのネットワーク機器により、以下の4つのネットワーク構成でご利用いただけます。

(A) アクセスポイントが存在し、無線LAN対応PCがアクセスポイントを用いて通信している場合



アクセスポイント経由でAIBOとPCが通信できます。

< アクセスポイントの設定 >

初期設定状態のAIBOと通信するため、アクセスポイントを以下のように設定してください。

SSID : AIBONET

WEP Key : AIBO2

無線チャンネル : 1 ~ 11の任意の値

LAN側アドレス : 10.0.1.1

LAN側サブネットマスク : 255.255.255.0

DHCPサーバ機能 : ON (可能なとき)

< PCの設定 >

さらに、PCのネットワーク設定を以下のようにしてください。

SSID : AIBONET

WEP Key : AIBO2

通信モード：インフラストラクチャモード（アクセスポイントモード）

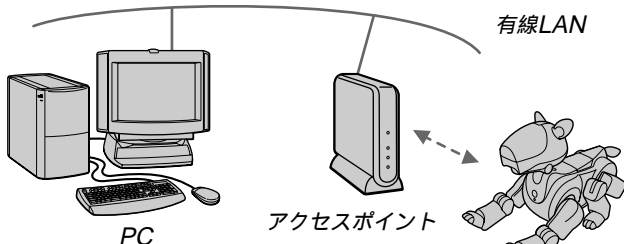
IPアドレス：アクセスポイントがDHCPサーバ機能を持つ場合は、「IPアドレスを自動的に取得」に設定する。それ以外は、「10.0.1.101」に設定する。

サブネットマスク：255.255.255.0

ご注意

現在市販されているアクセスポイントの中には、SSIDを設定できないものがあります。このようなアクセスポイントを使用する場合には、(C)または(D)のネットワーク構成で、いったんAIBOとPCで無線通信が行えるようにし、AIBOのネットワーク設定をアクセスポイントの設定に合うように変更してください。そのあと、(A)の構成に戻します。

(B) アクセスポイントが存在し、有線LANに接続されたPCが、アクセスポイントを通じて無線ネットワークと通信できる場合



アクセスポイント経由でAIBOとPCが通信できます。

< アクセスポイントの設定 >

初期設定状態のAIBOと通信するため、アクセスポイントを以下のように設定してください。

アクセスポイント動作モード：ブリッジモードまたはISDNルーターモード

SSID：AIBONET

WEP Key：AIBO2

無線チャンネル：1～11の任意の値

アクセスポイントのIPアドレス：10.0.1.1

サブネットマスク：255.255.255.0

< PCの設定 >

さらに、PCのネットワーク設定を以下のようにしてください。

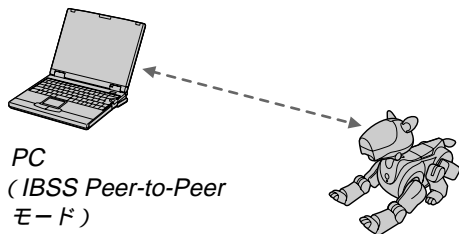
IPアドレス：10.0.1.1.101

サブネットマスク：255.255.255.0

ご注意

- 現在市販されているアクセスポイントの中には、SSIDを設定できないものがあります。このようなアクセスポイントを使用する場合は、AIBOの設定を有線LAN上のPCから変更することができません。別途、無線LAN対応PCをご用意ください。
- 有線LANの設定を変更すると、動作中の他の機器に悪影響をおよぼすことがあります。そのような場合は、設定を行うPCとアクセスポイントをいったん既存のネットワークから切り離してから、AIBOの設定を変更してください。そのあと、元の設定に戻してお使いください。

(C) アクセスポイントがなく、無線LAN対応PCのみがあって、そのうち少なくとも 1台が、IBSS Peer-to-Peerモードに設定されている場合
PC側がIBSS Peer-to-Peerモードに設定されているかどうかの確認のしかたは、お使いのLANカードの取扱説明書をご覧ください。



< PCの設定 >

初期設定状態のAIBOと通信するため、IBSS Peer-to-Peerモードに設定されているPC側を以下のように設定してください。

SSID : AIBONET

WEK Key : AIBO2

無線チャンネル : 1 ~ 11の任意の値

IPアドレス : 10.0.1.101

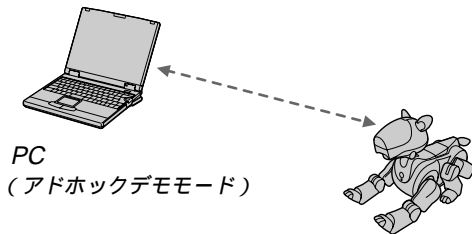
サブネットマスク : 255.255.255.0

通信モード : IBSS Peer-to-Peerモード

ご注意

AIBO側の設定変更を行ったあとには、これらの設定を変えることも可能です。

(D)アクセスポイントがなく、無線LAN対応PCのみがあって、どのPCも、*IBSS Peer-to-Peer* モードに設定されていない場合
PCとAIBOをアドホックデモモードという通信モードを用いて接続することができます。



< PCの設定 >

初期設定状態のAIBOと通信するため、PC側を以下のように設定してください。

WEP Key : AIBO2

無線チャンネル : 3

IPアドレス : 10.0.1.1.101

サブネットマスク : 255.255.255.0

通信モード : アドホックデモモード

ご注意

AIBO側の設定変更を行ったあとは、これらの設定を変えることも可能です。

AIBO側のネットワーク設定

AIBOワイヤレスLANカードの設定値には、次の項目があります。いったんネットワーク機器と通信したあとには、お客様がお使いの環境に合わせて、設定を変更することもできます。個々の項目の説明については、用語集をご覧ください。

項目	設定内容	初期設定値
<i>Hostname</i>	無線区間で使用するAIBOの名前。半角英数字で、8文字以内の文字列を指定する。	AIBO
<i>IP Address</i>	IPアドレス。	10.0.1.100
<i>Subnet Mask</i>	サブネットマスク値。	255.255.255.0
<i>IP Gateway</i>	ゲートウェイアドレス。	10.0.1.1
<i>SSID</i>	無線ネットワークの名前。半角英数字で32文字以内の文字列を指定する。	AIBONET
<i>WEP key</i>	無線データを暗号化するために使用する鍵となる半角英数字5文字の文字列。暗号化を使わない場合は、指定しないでください。	AIBO2
<i>動作モード</i>	インフラストラクチャモードまたはアドホックモード。	*(次ページ参照)
<i>無線チャンネル</i>	アドホックモードの時に、1~11のチャンネルを指定する。	3

* 上記設定値を持つアクセスポイントが見つかった場合、インフラストラクチャモードで起動します。見つからなかった場合は、アドホックモードで起動します。

AIBO側の設定を変更する

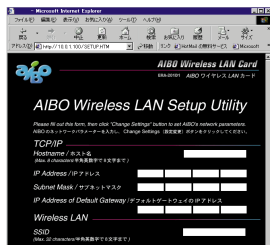
AIBOの無線LANの設定をするためには、Webブラウザがインストールされている無線LANに接続可能なPCが必要です。

1 アクセスポイントおよびPCの設定を行う

設定方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。(A)～(D)のそれぞれの設定内容は、18～22ページをご覧ください。

2 AIBOに無線LAN対応AIBO-ware“メモリースティック”を入れ、ポーズボタンを押して起動する

3 PCのWebブラウザでURLを入力しAIBO側の設定画面を呼び出す URL: <http://10.0.1.100/SETUP.HTM>



4 ネットワーク関連の設定値を入力する

5 「Change Settings」(設定変更) ボタンを押す

一度「Change Settings」ボタンを押してしまうと、手順3で設定された値に変更されますので、ボタンを押す前に必ず確認してください。間違えて設定した場合は、初期設定値に戻し(下記参照) 設定しなおしてください。

6 AIBOのポーズボタンを押し、AIBOの動作を停止させる

AIBOが次に起動したとき、設定した内容が有効になります。

7 お使いのネットワーク環境を元に戻す

8 新しいネットワーク環境で、PCからアクセスできるか、確認する

間違えて設定した場合 / 設定変更後、動作しないときは？

本カードを抜いて、AIBOを起動してください。

本カードが抜かれた状態でAIBOを起動すると、“メモリースティック”内のネットワーク関連の設定値を初期設定値に戻すことができます。

この後、再度設定し直してください。

使用上のご注意

落下について

LANカードに強いショックを与えないでください。故障の原因となることがあります。落とさないようにご注意ください。

置き場所について

次のような場所に置かないでください。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高いところ。（本カードは5 ～ 35 の範囲でご使用ください。）
- 車のダッシュボードの上や、直射日光下で窓を閉め切った自動車内。（特に夏季）
- 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
- ほこりの多いところ。
- ぐらついた台の上や傾いたところ。
- 振動の多いところ。
- 風呂場など、湿気の多いところ。
- 金属板やコンクリートなど電波を遮へいする障害物があるところ。

■ 結露について

寒いときに暖房をつけた直後など、LANカードの内部の部品に露（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。そのような場合は、約2、3時間放置してください。正常に動作するようになります。

お手入れ

柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。（ただし端子部分には水分が触れないようにお気を付けください。）シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めるので使わないでください。

故障かな？と思ったら

AIBOクリニックにご相談になる前に下表でチェックしてみてください。
それでも具合が悪いときは、お買い求めの販売店、またはAIBOクリニックにご相談ください。

■ 無線通信全般

症状	原因 対策(参照ページ)
PCからAIBOに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> カードが正しく挿入されていない。 本カードがしっかりと挿入されているか確認してください(13ページ)。 ネットワーク設定が正しくない。 ネットワーク設定をやり直してください(17ページ)。
データ転送速度が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 他のアクセスポイント/無線LAN機器と混信している。 無線チャンネルを変更してみてください。 一度にアクセスポイントへのアクセスが集中している。 時間を置いてもう一度アクセスしてみてください。
WEP key を忘れた	<ul style="list-style-type: none"> 現在設定されている WEP key を調べる方法はありません。 本カードを抜いてAIBOを起動し、設定を初期値に戻してから、ネットワーク設定をやり直してください(25ページ)。

症状	原因 対策(参照ページ)
アクセスポイント(または無線LAN対応PC)とAIBOの距離が50m以内なのに通信できない	<ul style="list-style-type: none"> • 設置場所や周囲の条件などで電波の到達距離は変わります。 AIBOおよび無線LAN対応PCをアクセスポイントに近づけてください。

■ AIBO

症状	原因 対策(参照ページ)
本カードをAIBO本体に装着したらAIBO本体の電源が入らなくなった	<ul style="list-style-type: none"> • カードが正しく挿入されていない。 本カードがしっかりと挿入されているか確認してください(13ページ)
AIBOが起動しなくなった	<ul style="list-style-type: none"> • カードが正しく挿入されていない。 本カードがしっかりと挿入されているか確認してください(13ページ) • バッテリーが消耗している。 本カードを装着すると、消費電力が若干増えます。バッテリーを充電してください。

保証とアフターサービス

保証について

AIBOワイヤレスLANカードに、お届けの日から下記期間中に故障が発生した場合、お求めの販売店もしくはAIBOクリニック（次ページ）へ修理をお申し付けください。

■ 無料修理規定

保証期間 1年（お届けの日から）

対象部分 ワイヤレスLANカード

1. 正常な使用状態（「取扱説明書」などの注意書きに従った使用状態）で故障した場合には、AIBOクリニックが無料修理させていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、次ページ「アフターサービス」をご覧ください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
 - （1）使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
 - （2）お買い上げ後の運送、落下などによる故障および損傷
 - （3）火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
 - （4）この保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- * この保証は本書の明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、AIBOクリニックにお問い合わせください。

■ 部品の保有期間について

当社ではAIBOワイヤレスLANカードの補修用性能部品（製品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。

保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合があります。
AIBOクリニックにご相談ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。それでも具合の悪いときはお買い求めの販売店もしくは下記のAIBOクリニックへご連絡ください。

■ AIBOクリニックについて

AIBOクリニックは、技術的なご質問・修理の総合窓口です。専任の担当者が直接お電話に対応します。詳細はAIBO本体に付属の「AIBOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

主な仕様

電源	3.3V
消費電流	送信時最大 330mA、受信時最大 240mA
コネクタ	PCカードスロット Type-II準拠
外形寸法	約90×12×53mm(幅×高さ×奥行き)
質量	約35g
対応プロトコル	TCP/IP
準拠規格	IEEE802.11b/IEEE802.11
使用周波数帯	2.4GHz
無線チャンネル	1～11から選択
変調方式	DS-SS(IEEE802.11準拠)
動作温度	5 ～ 35 (結露のないこと)
保存温度	- 20 ～ 60 (結露のないこと)
付属品	取扱説明書 保証書

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

アクセスポイント

無線通信インターフェースと、電話線またはイーサネットインターフェースを持ったネットワーク機器で、無線LANと有線LANの橋渡しを行うことができます。

アクセスポイントが無線通信を行う場合、SSIDと呼ばれる識別名、通信に使用する無線チャンネル、そしてWEP keyの3つの値を設定する必要があります。

アドホックデモモード (Ad Hoc Demo Mode)

アクセスポイントを使用せず、ワイヤレスLANカードを搭載した機器同士 (たとえばPCとAIBO) で通信を行う場合に使用する通信モードです。

このモードでは、AIBOとPC側両方で、無線チャンネル、WEP keyを設定する必要があります。

SSIDを設定することはできません。

インフラストラクチャモード (Infrastructure Mode)

アクセスポイントモード (Access Point Mode) とも呼ばれます。

ワイヤレスLANカードを搭載した機器が、アクセスポイントと通信を行う場合に使用する通信モードです。通信モードには、インフラストラクチャモードのほかに、アドホックモード (Ad Hoc Mode) があります。

インフラストラクチャモードでは、無線チャンネルはアクセスポイント側で指定されたものを使用します。AIBO側では、アクセスポイントにあわせたSSID、WEP keyを設定する必要があります。

サブネットマスク (Subnet Mask)

IPアドレスは、0-255までの数字4つからなりますが、「IPアドレス」の項参照)より効率的に運用するため、IPアドレスをネットワーク部とホスト部に分けて管理を行っています。この設定値を、サブネットマスクと呼びます。

サブネットマスクは、「1」が設定されているビットがネットワーク部となります。例: 192.168.1.1 のIPアドレスを持つ機器に対して255.255.255.0のサブネットマスクを設定した場合

192.168. 1 . 1

ネットワーク部 ホスト部

無線チャンネル

IEEE802.11bでは、2.4GHz帯を 14のチャンネルに分けており、近接する無線ネットワークで別々のチャンネルを設定することにより、混信を防ぐことができます。

本LANカードは、1-11の無線チャンネルを使用することができます。

無線チャンネルの設定は、インフラストラクチャモードを使用する場合、アクセスポイントで設定を行えば、すべての機器に設定が反映されます。アドホックモードでは、機器個別に無線チャンネルを設定する必要があります。

DHCPサーバ

TCP/IPでネットワークを構築するときには、必ず IPアドレスを設定する必要があります。

DHCPサーバがネットワーク上に存在すると、IPアドレスを自動的に割り振ることができます。DHCPサーバ機能は、アクセスポイント、または WindowsNT/2000サーバで提供されます。

IBSS Peer-to-Peerモード

(Independent Basic Service Set)

無線ネットワークで少なくとも1台のPCをIBSS Peer-to-Peer モードに設定すると、アクセスポイントを使用せずに無線LAN機器同士の通信を行うことができるようになります。

アドホックデモモードとの違いは、SSIDを設定できるか否かです。

IBSS Peer-to-Peer モードに設定しなければならないPCは、最低1台で、その他のPCおよび無線LAN対応機器は、インフラストラクチャモードに設定します。

IEEE802.11b

2.4GHz帯の電波を使用する無線LANの規格です。最大11Mbpsの通信速度を実現しています。

本カードは、IEEE802.11bに準拠しています。

IPアドレス (IP Address)

TCP/IPネットワークで、機器を識別するために用いる番号をIPアドレスと呼びます。IPアドレスは、0-255までの数字4つからなります。

例： 192.168.1.1
10.0.1.1

LAN (Local Area Network)

比較的小規模のネットワークを指し、イーサネット (Ethernet) と呼ばれる伝送速度10Mbps ~ 100Mbpsの有線LANで構成されるのが現在、一般的です。アクセスポイントを使用すると、無線LANを有線LANに接続することができます。

SSID

「アクセスポイントID」「グループ名」とも呼ばれることがあります。

インフラストラクチャモードで無線LAN対応機器が無線通信を行う際に、無線ネットワークの名前としてSSID と呼ばれる文字列を使用します。

SSIDは、AIBO、アクセスポイント、または IBSS Peer-to-Peerモードに設定されたPCに設定します。

SSIDは、最大で半角英数字32文字までの文字列を設定することができます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

ネットワーク上で機器 (パソコンなど) が通信を行う際に用いる通信手順 (プロトコル) の一種です。

TCP/IP は、インターネットで使用されているおり、もっとも広く用いられているプロトコルです。

本ワイヤレスLANカードは、TCP/IPを使用して通信を行います。

TCP/IP で通信を行うためには、「IPアドレス」と呼ばれる機器識別のための番号が必要です。

WEP

(Wired Equivallent Privacy)

無線通信を行う際に、データを暗号化することにより、他に通信データを解析されることを防止します。WEPを有効にするには、WEP key と呼ばれる無線暗号キーを設定します。WEP key には半角英数字5文字の文字列を設定してください。

お詫びと訂正

付属の取扱説明書に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

-
- P20 誤: <PCの設定>
さらに、PCのネットワーク設定を以下のようにしてください。
IPアドレス: 10.0.1.1.101
- 正: <PCの設定>
さらに、PCのネットワーク設定を以下のようにしてください。
IPアドレス: 10.0.1.101
-
- P22 誤: <PCの設定>
初期設定状態のAIBOと通信するため、PC側を以下のように設定してください。
WEP Key:AIBO2
無線チャンネル:3
IPアドレス: 10.0.1.1.101
- 正: <PCの設定>
初期設定状態のAIBOと通信するため、PC側を以下のように設定してください。
WEP Key:AIBO2
無線チャンネル:3
IPアドレス: 10.0.1.101
-

